

## 2019 年度共通教育科目 FD 報告活動報告

共通教育委員会委員長

佐々木克巳

標記の活動報告(外国語科目・英語展開科目を除く)を科目群毎に述べる。

### ●宗教科目(宗教教育委員会)

#### ○「宗教論受講生対象講演会」について

この講演会は、「宗教論」受講生全員を対象とした講演会であり、鳥巢学長による学長講演会であった。

「カトリック大学で学ぶ意味を考える」という演題で、各クォーターに1回ずつ、計4回の講演会を開催した。各講演会終了後、受講生のアンケートを回収し、回答内容を科目担当者や学長の間で共有し改善のための資料としている。

講演会日時:【第1クォーター】2019年 5月 8日(水)13:30~15:00 フラッテンホール

【第2クォーター】2019年 7月 10日(水)13:30~15:00 G30 教室

【第3クォーター】2019年 10月 16日(水)13:30~15:00 フラッテンホール

【第4クォーター】2020年 1月 8日(水)13:30~15:00 フラッテンホール

#### ○「宗教科目担当者懇談会」の開催

今年度は、2020年2月27日(木)に開催した。各担当者が自分の授業運営について、現況や課題の報告を行い、意見交換を行った。また、授業で使用している資料の回覧も行われた。

授業運営の課題については、昨年と同様「学生の宗教に対する興味を惹くには工夫が必要」との声や「どのように出席を確認すればよいか」等についての意見が複数あがり、各担当者が工夫している点等を分かち合った。

他にも、以下のような意見があげられた。

- ・リアクションペーパーを読む時間がない。
- ・「宗教論」の最初の授業で「南山のアイデンティティ」を伝えるべきではないか。
- ・他の先生方がどのような授業をしているかわからないので、足並みを統一した方がよいのではないか。
- ・WebClass を活用し、一部だけでも動画を使ってみると学生は喜ぶのではないか。
- ・映画を見せたが、学生からの評価は高かった

これらの意見交換を踏まえ、今後も意見交換・情報共有を継続していくこととした。

### ●体育科目・スポーツ科目(体育教育センター)

体育教育センター内の組織である体育科目運営会議において、ティーム・ティーチングで実施

されている基礎体育科目を中心にその運営および成績評価基準に関して検討を重ね、その結果を専任教員・非常勤講師による懇談会(2019年6月1日(土))において共有した。その上で、各クォーター終了後に成績評価の再点検を、ペア曜日の教員同士で確認した。

また、専任教員の実技指導の質的向上を目指して、教材研究に関するFD研修会(2019年5月28日(火))を実施した。

## ●情報倫理・情報科目(情報センター)

### 1. 開催主体

情報センター情報教育部門会議

### 2. 対象者

2019年度「情報倫理」科目担当者

### 3. 開催日時

2020年3月31日(火)10:30-11:30

### 4. 開催場所

S28 教室

### 5. 参加者(敬称略)

#### (1)理工学部

栞原 寛明、金山 知俊、大月 英明、杉原 桂太、張 漢明

#### (2)国際教養学部

後藤 邦夫、吉田 敦

#### (3)事務局

大宮 則彦、近藤 健司

### 6. テーマ

2019年度「情報教育」FD 研究会

### 7. 意見交換内容

(1)2019年度実施状況の共有および2020年度に向けての確認事項

#### ○テキスト

・2020年度版になるが、大きな変更はないため基本的には2019年度を踏襲した内容になる

#### ○コロナウイルス感染予防対策

・Q1は12回の授業となる予定なので、教員用のコースで内容を確認すること

・可能な限り教室に集まる時間を短くするよう配慮する

・教室内では間を空けて座る

・定期的な換気(TA)を行う

・偶数、奇数クラスで授業の進行を揃えるために「アカウント管理」のe-learningの期間を長く設定する

#### ○欠席対応

- ・欠席過多は、授業回数に比例して、5 回(15 回授業)を 4 回(12 回授業)に変更する
- ・学生がウイルスに感染した場合は、インフルエンザと同様の対応とする
- ・熱や咳がある学生には出席を求めないなど柔軟に対応する

#### ○グループワーク運営

- ・役割分担を行った後の実施方法は各グループに委ねる
- ・必ずしも教室に留まる必要はない
- ・ディスカッションをチャットで行うのもあり

#### ○発表

- ・WebClass に発表ビデオを UP し、評価するのもあり
- ・動画が作成できないグループは、当日教室で教員が対応しアップロードすることも可能

#### ○提出物

- ・紙による提出ではなく、WebClass 内で提出することを検討する
- ・グループワークの活性化
- ・メンバー間で温度差があり、グループとして同じ評価を受ける不平等感の指摘がある
- ・教員が役割を確認することで意識付けを行う
- ・役割分担を報告させる
- ・TA が見廻る
- ・孤立する学生を含め、グループとしての対応方法を学ぶことにも意義がある
- ・途中でグループを変更することは喜ばれない

#### ○対面授業のレポートの回し読み

- ・WebClass 上で全員のレポートを公開してもよいのではないか

#### ○TA

- ・Q1Q2 の割り当てが完了
- ・募集をクォーター毎にしたのは一定の効果があった
- ・オンライン授業にすることで早く終了した場合でも、TA の勤務時間には影響させない
- ・TA は同じ時間帯内でローテーションする可能性あり、制度的にやることも検討

#### ○内容が易しいとの指摘に対し

- ・教科「情報」の授業内容が高校によって大きく異なること、情報倫理に関わる内容が 1 時限程度しか扱われていないことを考えると、内容を易しめにしてでもレベルの底上げを図る必要がある
- ・物足りない学生には、より詳しい情報を提供するなど、個別に対応することも検討

#### ○出席管理方法

- ・WebClass の設定はクォーター制に対応していないので、WebClass で出席管理する場合は、3 日置き等に設定して日付を変更する等の工夫が必要
- ・原始的に紙でチェック
- ・グループを見廻る際にチェック

○クラス分け

- ・4/1 以降に入学者が確定次第、クラス分け、グループ分けを行う
- ・Q1 の経済クラスに総合政策の秋入学生が入る
- ・4 月入学予定だった留学生は 9 月入学になるかもわからないが、総合政策以外は制度がない

8. 配布資料

2019 年度受講生対象アンケート結果(情報倫理 Q1～Q4)

● 「人間の尊厳」科目(人間の尊厳科目委員会)

当初は科目担当者懇談会を年度末におこなう予定だったが、コロナウィルス蔓延の危険性を受けて今年度はやむなく実施しなかった。

● 基盤・学際科目(基盤・学際科目委員会)

基盤・学際科目の位置付け、基盤・学際科目の各科目の関係を示す『2020 年度基盤・学際科目案内』を作成し、新入生の学科別ガイダンスで配付した。この作成の過程が、各コーディネーターが基盤・学際科目の全体像を明確に捉えることや、コーディネーターと各担当教員、また、コーディネーター同士を結ぶ仕組みとして機能した。

● キャリア教育科目(キャリア支援委員会)

- ・キャリア教育科目「インターンシップ研修Ⅱ」報告会

日 時:10 月 2 日(水)3 限・4 限

内 容:インターンシップ実習の成果報告会の司会進行と学生に対する全体まとめおよびフィードバックを行った。

- ・キャリア教育科目「インターンシップ研修Ⅱ」実習受入機関との意見交換会

日 時:10 月 2 日(水)15:15～

内 容:インターンシップ研修をさらに充実させ、大学・受入機関双方にとって意味のあるものにするため、学生受入機関からの意見・要望等を伺った。

● 海外研修科目(国際センター)

2019 年 7 月 30 日(火)に開催された国際センターSD 研修会「あいち国際戦略プラン 2022 について」(講師:愛知県政策企画局国際化 国際戦略グループ課長補佐 南谷 美帆氏)に、科目担当者が参加し、愛知県における国際化推進の取組事例や戦略を聞き、意見交換を行った。

以 上